

令和4年度羽幌町環境審議会 記録

1 開催日

令和5年3月16日（月） 9時55分～10時30分

2 開催場所

羽幌町役場2階 幹部会議室

3 出席委員の氏名

蝦名 修、重原 伸昭、水上 博、和田 浩、若林 孝宗、濱野 孝、藤井 智子

4 説明のため出席した事務局職員の氏名

副町長 鈴木 典生

町民課 課長 宮崎 寧大

町民課環境衛生係 係長 田中 康裕

町民課環境衛生係 主任 津田 聖也

地域振興課 課長 清水 聡志

地域振興課政策推進係 係長 山田 太志

5 会議の公開、非公開又は一部公開の別

公開

6 議題及び議事の要旨

議事審議の前に鈴木副町長よりあいさつ

(1) 羽幌町の公害の現況報告

資料に基づき事務局より一括報告

【質問】水質検査を実施しているかくのぼの沢川はどこにあるか。

【回答】資料7ページ別紙4に記載している。

【質問】かくのぼの沢川の大腸菌群数が増えているが要因はなにか。

【回答】天候等にも左右されるため数値が高くなる可能性がある。

(2) 羽幌町の小形風力発電施設の現況報告

【質問】国の再生可能エネルギー発電事業計画認定状況では設置済58件に対し、羽幌町への届出状況では設置済53件となっているが、この差はなにか。

【回答】国に申請している91件数のうち58件が設置されており、羽幌町へ届出し

ている58件のうち53件が設置されている。差の5件は羽幌町に届出がないもの。

【質問】未設置のものはいつまでに設置しなければならないなど決まりはあるか。

【回答】いつまでという決まりはないが、法律が変わってきており、認定を受けたが一定期間建設する見込みがない場合など、認定取り消しや失効などの扱いができるよう制度が変わってきているため、件数は減ってくるものと思われる。

【質問】小形風力の申請について、国の買取価格や設置費用などから今後も増えていくのか。

【回答】当初は高い値段で売電ができるということで申請や認定が増えていたが、現在は価格が下がってきており、申請件数は落ち着いてきている。

【意見】国への申請件数が91件あり、仮に全部建設された場合でも約2,000kwにしかならない。苫前町にある風車は1基あたり4,000kw以上のため半分にも満たない。汐見地区は風車がたくさん並んでおり景観が残念に思う。近隣住民や野鳥に対する影響が心配されている。条例を制定していただいているが羽幌町として強い気持ちで対応してほしい。

【回答】町としてもそのように対応していきたい。

(3) その他

【質問】留萌市にて洋上風力発電の海域指定をしたいと考えていると聞いている。また、各地で洋上風力発電の計画があり、北海道でも5地区検討され、促進区域に進むであろうとされるところが2地区あるということも聞いている。町に対し発電事業者からのアプローチや内部での検討などがあれば教えてほしい。

【回答】発電事業者から全国的な流れなど情報提供していただく程度で具体的に何か動いていくというものではなく、内部で議論する段階にも至っていない。現在は、国や北海道の動きなど情報収集している状況である。

【意見】当町においては国定公園や海鳥などの問題があるので、情報があれば提供していただきたい。

【意見】発電事業者と話す機会があり、「北海道の日本海側はポテンシャルがあり適地だ」と話しており、それに対しとても危惧している。ポテンシャルがあれば適地なのか。国定公園の天売焼尻、暑寒別を有する留萌管内が果たして適地なのか。しっかりと考えなければならないと思う。また、留萌市の動きも心配しており、留萌市だけがいいというのではなく、留萌管内全体で考えていかなければならない。そのような意見があるということ伝えていただけるとありがたい。

【意見】 洋上風力発電の話が進めば今後の環境審議会で議題にあがることになるが、海に対する影響やこれまでの事例など判断する材料があると審議しやすくなる。

【回答】 情報収集しながら共有していく。